

infojust 『新潟直 1000m の傾向を探る！』

こんにちは！

“データ競馬”を専門にやっております、前川です。
インフォジャストさんから隔週にてメルマガ配信しております。

今回は第 10 回となります。

バックナンバーは「今日の消去馬 & 推奨馬」からご覧下さい。
http://www.infojust.jp/?page_id=732&pid=1

今週から新潟開催が始まりますね！

新潟と言えば、名物の直線コースですが、今週は早速、そのコースで
JRA では唯一の直線の重賞アイビスサマーダッシュがありますね。

個人的にも好きな重賞で、一度見に行ってみたいレースのひとつですが
新潟ということで、北海道に住んでいる私にはなかなか縁遠くて、今年も
残念ながら行けそうにありません・・・

札幌記念なら何度も見に行っているんですけどね(笑)

さて、今日はそのアイビスサマーダッシュが開催される特殊なコース

新潟芝 1000m の傾向をデータで探ってみようと思います。

直線 1000m はアイビスサマーダッシュだけでなく、他にも番組が組まれていますので、是非、参考にしてみてください。

データは 2001 年以降、全 194 レースを対象としています

数値は(着別度数) 勝率 連対率 複勝率

騎手(レース機会 10 回以上)

1 位柴田善臣(19-9-4-53)	22.4%	32.9%	37.6%
2 位中舘英二(15-18-14-71)	12.7%	28.0%	39.8%
3 位後藤浩輝(11-6-5-40)	17.7%	27.4%	35.5%
4 位田中勝春(8-11-5-65)	9.0%	21.3%	27.0%
5 位村田一誠(8-5-6-63)	9.8%	15.9%	23.2%
6 位北村宏司(7-7-9-52)	9.3%	18.7%	30.7%
7 位江田照男(6-8-7-44)	9.2%	21.5%	32.8%
8 位木幡初広(6-8-6-54)	8.1%	18.9%	27.0%
9 位二本柳壮(5-9-6-62)	6.1%	17.1%	24.4%
10 位蛸名正義(5-4-3-29)	12.2%	22.0%	29.3%

調教師(レース機会 10 回以上)

1 位(美)後藤由之(6-2-2-19)	20.7%	27.6%	34.5%
2 位(栗)森秀行 (5-4-2-16)	18.5%	33.3%	40.7%
3 位(美)大江原哲(5-3-3-19)	16.7%	26.7%	36.7%
4 位(美)松山康久(5-3-0-25)	15.2%	24.2%	24.2%
5 位(美)佐藤全弘(5-2-3-36)	10.9%	15.2%	21.7%
6 位(美)古賀史生(5-2-2-18)	18.5%	25.9%	33.3%
7 位(美)上原博之(4-4-6-27)	9.8%	19.5%	34.1%
8 位(美)嶋田潤 (4-2-1-23)	13.3%	20.0%	23.3%

9位(美)伊藤伸一(4-1-3-13) 19.0% 23.8% 38.1%

10位(美)坂本勝美(3-5-3-29) 7.5% 20.0% 27.5%

所属

美浦(129-140-143-1834) 5.7% 12.0% 18.3%

栗東(64-54-50-533) 9.1% 16.8% 24.0%

地方(1-1-2-25) 3.4% 6.9% 13.8%

種牡馬(レース機会 10 回以上)

1位サクラバクシンオー (19-20-20-131) 10.0% 20.5% 31.1%

2位ウォーニング (6-0-3-34) 14.0% 14.0% 20.9%

3位アフリート (5-4-4-48) 8.2% 14.8% 21.3%

4位タイキシャトル (5-2-4-48) 8.5% 11.9% 18.6%

5位フジキセキ (5-2-1-34) 11.9% 16.7% 19.0%

6位パラダイスクリーク (5-2-1-23) 16.1% 22.6% 25.8%

7位ホワイトマズル (5-1-1-15) 22.7% 27.3% 31.8%

8位ブライアンズタイム (5-0-2-29) 13.9% 13.9% 19.4%

9位ニホンピロウイナー (3-3-2-22) 10.0% 20.0% 26.0%

10位シャンハイ (3-3-0-15) 14.3% 28.6% 28.6%

騎手・調教師/所属・種牡馬

騎手ではやはり関東騎手が上位を独占しています。

中でも、柴田善、中舘、後藤騎手の複勝率が高いですね。

また、昨年アイビスサマーダッシュでサンアディユを勝利に導いた村田一騎手も上位にランクインしています。

村田騎手は回収率も良く単 216%、複 98%、また、7位にランクインしている江田照騎手も複勝回収率 120%と高くなっています。

調教師では、やはりこちらも関東所属の調教師が多いのですが
その中、関西の森秀行調教師が2位にランクインしています。
今回の開催も出てきたら注目してみましよう。

種牡馬ではダントツにサクラバクシンオーです。
出走頭数も多いのですが、連対率、複勝率とも高レベルです。

騎手・調教師・種牡馬の全データは以下よりダウンロードできますので
ご活用ください。

<http://datakeiba.client.jp/muryou.html>

枠

1 枠(15-17-11-288)	4.5%	9.7%	13.0%
2 枠(20-20-13-286)	5.9%	11.8%	15.6%
3 枠(21-23-19-280)	6.1%	12.8%	18.4%
4 枠(17-13-25-294)	4.9%	8.6%	15.8%
5 枠(28-29-27-275)	7.8%	15.9%	23.4%
6 枠(27-27-15-298)	7.4%	14.7%	18.8%
7 枠(31-27-29-354)	7.0%	13.2%	19.7%
8 枠(35-39-56-317)	7.8%	16.6%	29.1%

脚質

逃げ(71-66-39-184)	19.7%	38.1%	48.9%
------------------	-------	-------	-------

先行(66-61-53-381) 11.8% 22.6% 32.1%

差し(46-58-73-976) 4.0% 9.0% 15.4%

追込(11-10-30-845) 1.2% 2.3% 5.7%

枠・脚質

新潟直 1000m で良く言われているのは、「外枠を狙え」ですが
データで見ると・・・

やはりそのとおりの結果ですね！

1 枠の複勝率が 13.0%に対して、8 枠は 29.1%。

かなりの開きがありますね。

また、回収率を確認してみました。

1 枠 単 51% 複 44%

2 枠 単 50% 複 59%

3 枠 単 56% 複 62%

4 枠 単 57% 複 67%

5 枠 単 52% 複 87%

6 枠 単 64% 複 53%

7 枠 単 123% 複 86%

8 枠 単 103% 複 119%

外枠の回収率が非常に高いです。

やはり、「外枠を狙え！」ですね。

脚質では、やはり逃げ先行を狙うのがベストでしょう。

ダッシュ力のある馬が良いです。

前走距離

1000m(46-52-39-496) 7.3% 15.5% 21.6%
1200m(100-98-106-1117) 7.0% 13.9% 21.4%
1300m(0-2-0-19) 0% 9.5% 9.5%
1400m(13-16-13-232) 4.7% 10.6% 15.3%
1500m(1-1-0-11) 7.7% 15.4% 15.4%
1600m(8-7-8-104) 6.3% 11.8% 18.1%
1700m(1-1-4-49) 1.8% 3.6% 10.9%
1800m(2-1-5-84) 2.2% 3.3% 8.7%
2000m 以上(1-0-0-22) 4.3% 4.3% 4.3%

前走馬場

芝(128-133-144-1481) 6.8% 13.8% 21.5%
ダート(49-47-32-711) 5.8% 11.4% 15.3%

前走距離・前走馬場

前走距離では、1000m、1200m が良い。
長くても前走 1600m ぐらいまでがギリギリ好走ラインでしょう。

1700m 以上から、いきなり直線の 1000m では苦戦必死...と言うこと
でしょうね。

前走馬場で見てみると...

昨年サンアディユは、初の芝戦だったことは有名ですが
実際に、新潟直 1000m は前走ダートだった馬の活躍が多いので
頭に入れておくと良いかもしれませんね。

以上、新潟芝 1000m をデータから見てみました。
特殊なコースだけに、通常の芝短距離とはやや傾向が違うようですね。

これを予想のヒントのひとつにしてもらえれば嬉しいです。

アイビスサマーダッシュのデータ分析は、私のブログにて掲載しておりますので、よろしければどうぞご覧下さい。

激走！データ競馬ブログ

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/>

最後に、お知らせです。

今週から、私が配信する「今日の消去馬&推奨馬」での配信する開催は【新潟開催】と【小倉開催】のレースとなります。

先週までは函館開催を配信していましたが、開催替わりに伴い変更になります。よろしくお願いいたします。

また、17日より単勝攻略マニュアルを無料公開いたしました！

タイトルは・・・

--*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---

『高確率単勝マニュアル』～回収率 120%へのフィルターとヒネリ～

--*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---

こちらから無料ダウンロードできます

<http://datakeiba.client.jp/kouryaku.html>

これにより、「今日の消去馬&推奨馬」では、単勝にもフル活用できるようになります！

会員ではない方でも、単勝攻略のヒントがたくさん詰まっていますので是非、見てくださいね！

それでは、今日はこのへんで・・・
また次回お会いしましょう！

前川正光

infojust 「ハンデ戦の狙い方」？

こんにちは！

“データ競馬”を専門にやっております、前川です。
インフォジャストさんから隔週にてメルマガ配信しております。

今回は第9回となります。

バックナンバーは「今日の消去馬&推奨馬」からご覧下さい。
http://www.infojust.jp/?page_id=732&pid=1

夏競馬もいよいよ本番を迎えました。
毎年のことですが予想が難しい季節ですね。
さらに全レース3連単発売もされると言うことで、高配当の連発も予想されます。

そして、夏と言えば、ハンデ戦もたくさんありますよね。
重賞では、ラジオ NIKKEI 賞、七夕賞、小倉サマージャンプ、函館記念、
小倉記念、北九州記念、新潟ジャンプ、新潟記念...

いやあー何て多いことでしょう！
「夏は難しい！」というイメージも仕方ないところでしょうね。

そこで、今日は「ハンデ戦の狙い方」について、データを見ていきましょう。

と、言っても...ハンデ戦の本質は、ハンデを設けることによって、どの馬にも勝機を与えることを目的としていますので、難しいのは当たり前。

あてもなくむやみに買うのは、ただのギャンブルですから、狙いの馬がいなければ無理な勝負はしないほうが良いと私は思っています。

まあ、安齋さんの異常馬配信や竹内さん配信の Gallop 新聞などで、狙いの馬がわかれば別ですけどね。

もしくは、そんな難しいレースを頭ひねって考えるより、買い目を配信してくれる青木さんの楽勝投資倶楽部がいいかもね。

そんな有益な情報配信詳細はコチラから見ることができます。

http://www.infojust.jp/?page_id=429

私も「今日の消去馬&推奨馬」で参加させてもらっています。

さて、話がそれてしまいましたが、ハンデ戦のデータでしたね。
ではでは、見ていくことにしましょう。

対象データは 2006 年以降、芝ダのハンデ戦全 506 レース

数値は

項目(着別度数) 勝率 連対率 複勝率 単勝回収率 複勝回収率

騎手

1 位	武豊 (23-23-15-89)	15.3%	30.7%	40.7%	単 63%	複 73%
2 位	後藤 (18-19-18-103)	11.4%	23.4%	34.8%	単 80%	複 96%
3 位	蛸名 (18-18-11-100)	12.2%	24.5%	32.0%	単 90%	複 91%
4 位	横山典(18-18-10-92)	13.0%	26.1%	33.3%	単 87%	複 77%
5 位	吉田豊(16-9-6-115)	11.0%	17.1%	21.2%	単 87%	複 77%

6位	安藤勝(15-16-14-74)	12.6%	26.1%	37.8%	単 57%	複 75%
7位	田中勝(15-16-11-98)	10.7%	22.1%	30.0%	単 93%	複 93%
8位	藤田 (15-16-11-87)	11.6%	24.0%	32.6%	単 70%	複 81%
9位	福永 (15-15-11-110)	9.9%	19.9%	27.2%	単 71%	複 69%
10位	川田 (14-11-5-91)	11.6%	20.7%	24.8%	単 135%	複 88%
11位	小牧 (14-9-20-84)	11.0%	18.1%	33.9%	単 167%	複 141%
12位	岩田康(13-22-27-102)	7.9%	21.3%	37.8%	単 38%	複 99%
13位	中館 (13-11-8-105)	9.5%	17.5%	23.4%	単 82%	複 68%
14位	柴田善(13-7-11-104)	9.6%	14.8%	23.0%	単 81%	複 74%
15位	武幸 (12-14-6-76)	11.1%	24.1%	29.6%	単 191%	複 96%

調教師

1位	松田博(12-9-6-40)	17.9%	31.36%	40.3%	単 102%	複 86%
2位	中村均(10-6-6-70)	10.9%	17.4%	23.9%	単 86%	複 76%
3位	大久保洋(9-6-5-63)	10.8%	18.1%	24.1%	単 128%	複 75%
4位	音無秀(8-13-13-75)	7.3%	19.3%	31.2%	単 42%	複 86%
5位	池江郎(8-5-7-67)	9.2%	14.9%	23.0%	単 75%	複 73%
6位	長浜博(8-4-8-43)	12.7%	19.0%	31.7%	単 128%	複 93%
7位	藤原英(8-4-3-18)	24.2%	36.4%	45.5%	単 149%	複 117%
8位	橋口弘(7-7-9-80)	6.8%	13.6%	22.3%	単 53%	複 68%
9位	鮫島一(7-6-7-71)	7.7%	14.3%	22.0%	単 45%	複 62%
10位	加用正(7-3-8-58)	9.2%	13.2%	23.7%	単 88%	複 69%
11位	野村彰(7-2-5-35)	14.3%	18.4%	28.6%	単 451%	複 152%
12位	栗田博(7-0-4-35)	15.2%	15.2%	23.9%	単 208%	複 112%
13位	森秀行(6-8-14-78)	5.7%	13.2%	26.4%	単 52%	複 100%
14位	松元省(6-8-6-39)	10.2%	23.7%	33.9%	単 160%	複 108%
15位	鶴留明(6-6-4-32)	12.5%	25.0%	33.3%	単 181%	複 119%

馬主

1位	サンデーレーシング(35-45-32-244)	9.8%	22.5%	31.5%	単 86%	複 107%
2位	社台レースホース(30-26-22-216)	10.2%	19.0%	26.5%	単 106%	複 93%
3位	サラブレッドクラブ・ラフィアン(14-11-14-163)					

		6.9%	12.4%	19.3%	単 129%	複 75%
4位	近藤利一(13-10-3-53)	16.5%	29.1%	32.9%	単 100%	複 65%
5位	松本好雄(10-7-8-80)	9.5%	16.2%	23.8%	単 130%	複 116%
6位	ビッグレッドファーム(9-3-5-62)	11.4%	15.2%	21.5%	単 405%	複 160%
7位	シルク(8-9-7-54)	10.3%	21.8%	30.8%	単 59%	複 91%
8位	西山茂行(8-8-8-59)	9.6%	19.3%	28.9%	単 68%	複 77%
9位	内村正則(8-7-2-57)	10.8%	20.3%	23.0%	単 50%	複 52%
10位	吉田勝己(8-3-3-46)	13.3%	18.3%	23.3%	単 90%	複 64%

データ詳細はコチラからダウンロードできます。

<http://datakeiba.client.jp/muryou.html>

騎手では、武豊騎手がダントツですが、回収率に目を向けてみると川田騎手、小牧騎手、武幸騎手。この3人はこれだけ多くの騎乗をこなして、この数値ですから、特筆ものです。

調教師では、上位の方がやはり素晴らしいのですが、ここ最近の成績で注目しているのは、藤原英調教師です。

今年に入ってからの成績(4-1-1-4)

- 5/18 烏丸 S 1着エアジバング(5番人気)
- 4/26 シドニー T 3着トレノジュビリー(3番人気)
- 4/6 ダービー卿 CT 2着ドラゴンウェルズ(9番人気)
- 3/30 心斎橋 S 1着エイジアンウインズ(1番人気)
- 3/9 中京記念 1着タスカータソルテ(6番人気)
- 3/2 なにわ S 1着サイボーグ(4番人気)

人気問わず、好成績を出しています。今年の後半戦も注目です。

騎手&調教師の成績では、吉田豊・大久保洋(6-3-4-27)

秋山・野村彰(5-1-2-9)が目立った成績を残しています。

馬主では、サンデーと社台は別格ですが、近藤氏(アドマイヤ・・・)や松本氏(メイショウ・・・)なども素晴らしい成績です。

あと、同じレースに同じ馬主の馬が2頭以上、登録あれば注意が必要です。勝たせたい馬とそうでない馬がいるはずですから、ハンデや人気などに注意してみましょう。

それから、登録時には、断然強い馬がいたが、直前に回避した場合は、回避によって、ハンデの恩恵を受けた馬がいるはずで。

その強い馬が登録していなければ、もう少し重いハンデになってたであろう馬。そんな馬に注目です。

それが、同じ馬主なら...なおさらですね。

ハンデ別

48kg以下(1-0-0-15) 6.3% 6.3% 6.3% 単 726% 複 178%
49kg(2-0-2-23) 7.4% 7.4% 14.8% 単 87% 複 221%
50kg(1-2-11-223) 0.4% 1.3% 5.9% 単 51% 複 75%
51kg(7-14-19-408) 1.6% 4.7% 8.9% 単 59% 複 85%
52kg(21-34-35-685) 2.7% 7.1% 11.6% 単 93% 複 77%
53kg(49-53-55-980) 4.3% 9.0% 13.8% 単 111% 複 87%
54kg(97-84-110-1205) 6.5% 12.1% 19.5% 単 103% 複 92%
55kg(100-120-106-1405) 7.1% 15.7% 23.2% 単 78% 複 84%
55.5kg(3-1-0-7) 27.3% 36.4% 36.4% 単 144% 複 68%
56kg(108-102-85-726) 10.6% 20.6% 28.9% 単 76% 複 81%
56.5kg(1-2-6-15) 4.2% 12.5% 37.5% 単 10% 複 63%
57kg(71-62-46-410) 12.1% 22.6% 30.4% 単 87% 複 74%

57.5kg(27-24-14-91) 17.3% 32.7% 41.7% 単 105% 複 93%
58kg(13-8-15-58) 13.8% 22.3% 38.3% 単 54% 複 75%
58.5kg(3-0-0-8) 27.3% 27.3% 27.3% 単 83% 複 40%
59kg(2-2-1-5) 20.0% 40.0% 50.0% 単 124% 複 102%
59.5kg(0-0-0-2) 0.0% 0.0% 0.0% 単 0% 複 0%

前走からの斤量増減

斤量増

1 ~ 1.5kg(42-50-26-258) 11.2% 24.5% 31.4%
2 ~ 2.5kg(13-10-4-70) 13.4% 23.7% 27.8%
3kg 以上(4-11-15-52) 4.9% 18.3% 36.6%

斤量減

1 ~ 1.5kg(106-110+114-1093) 7.4% 15.2% 23.2%
2 ~ 2.5kg(83-99-85-1052) 6.3% 13.8% 20.2%
3kg 以上(69-83-103-1716) 3.5% 7.7% 12.9%

増減なし(164-124-140-1605) 8.1% 14.2% 21.1%

軽ハンデ馬は苦戦していますね。

51kg 以下で(11-16-32-669)連対率 3.7%です。平均人気は 12 番人気
ですから、追いかけてすぎないように...

昔ではハンデ差上下 10kg 以上あったレースもありましたが、それほど
斤量の差を設けることがなくなりました。せいぜい 7kg くらいですよ。

斤量差があまりなければ、斤量が重い、実力のある馬が有利になると
考えられます。

データを見ても、重ハンデ馬の方が好走比率が高くなっていますね。

それから、ハンデ別の成績を見てみると、

55.5kg

56.5kg

57.5kg

58.5kg

が比較的高い数値を記録しています。

まあ、該当数が少ないせいもありますが、それでも、57.5kg 複勝率 41.7%は高いと思います。

この「.5」が良いんですね。

覚えておいて損はないでしょう。

また、ハンデ戦では「斤量差と着差・時間差」というのも気にしてみてください。

「斤量 1kg 差」がおよそ「1馬身・0.2秒の差」と言われていますので、それを考慮し、

ハンデが重すぎる、軽すぎるのではないかと考えてみると良いかもしれません。

斤量増減のデータでは、大幅な斤量減が狙い目...

と思いがちですが、実際にデータを見てみるとそうではありません。

前走 3kg 以上減を狙うよりも、前走から 1kg 増の方が良さそうですね。

前走から

斤量増 1～1.5kg(42-50-26-258) 11.2% 24.5% 31.4%

斤量減 3kg 以上(69-83-103-1716) 3.5% 7.7% 12.9%

以上。

ハンデ戦をデータから見てみました。
これを予想のヒントのひとつにしてもらえれば嬉しいです。

それでは、今日はこのへんで・・・
また次回お会いしましょう！

前川正光

infojust 『いよいよ宝塚記念！狙える馬は？危険な馬は！？』

こんにちは！

“データ競馬”を専門にやっております、前川です。
インフォジャストさんから隔週にてメルマガ配信しております。

今回は第8回となります。

バックナンバーは「今日の消去馬&推奨馬」からご覧下さい。

http://www.stroad.co.jp/goods/mae_backnumber.pdf

さて、今回は宝塚記念という、春G1を締めくくるビッグレースが次週に控えていますので、今日はこの宝塚記念をデータから徹底的に分析してみようと思います。

データは過去10年を参照し、人気別や馬齢、所属、前走など各項目別にデータを集計しています。

まずは、人気とオッズのデータを見てみましょう。

人気

1 番人気(5-2-0-3)

2 番人気(2-1-1-6)

3 番人気(1-1-3-5)

4 番人気(0-1-2-7)
5 番人気(0-0-0-10)
6 番人気(1-2-0-7)
7～9 番人気(0-2-4-24)
10 番人気以下(1-1-0-46)

単勝オッズ

1 倍台(2-2-0-1)
2 倍台(3-0-0-3)
3 倍台(2-0-1-3)
4 倍台(0-1-1-1)
5.0～6.9 倍(1-0-2-2)
7.0～9.9 倍(0-1-2-3)
10.0～14.9 倍(0-1-0-10)
15.0～19.9 倍(1-1-0-6)
20.0～29.9 倍(0-1-0-14)
30.0～49.9 倍(1-2-2-17)
50.0～99.9 倍(0-1-2-18)
100 倍以上(0-0-0-30)

1 番人気が 7 連対と比較的堅実なようです。

1 番人気で着外になったのは 3 頭。

2007 年ウオッカ

2005 年タップダンスシチー

2003 年シンボリクリスエス

タップダンスシチーは 8 歳、シンボリクリスエスは有馬記念からの休み明け。
昨年のウオッカは、3 歳牝馬では異例の出走 & 1 番人気でしたよね。

連対した7頭は

2006年ディープリンパクト

2004年タップダンスシチー

2002年ダンツフレイム

2001年テイエムオペラオー

2000年テイエムオペラオー

1999年スペシャルウィーク

1998年サイレンススズカ

タップダンスシチー以外は4・5歳馬です。

年明けから順調に使ってきた4・5歳の人気馬は信頼度高そうです。

10番人気以下の人気薄の好走は

2005年スイープトウショウ(11番人気)

2006年ナリタセンチュリー(10番人気)

G2、2勝のナリタセンチュリーが長期休養明けの叩き2戦目で激走。

スイープトウショウはG1勝ちもあり、前走安田記念で2着だったのに

11番人気だった

ちなみに、スイープトウショウが馬券に絡んだ最低人気。

12番人気以下では(0-0-0-28)

オッズでは単勝100倍以上で(0-0-0-30)です。

人気やオッズは当日確認してみてくださいね。

では、次に馬齢、および所属別のデータを見えます。

馬齢

3歳(0-0-1-6) 0% 0% 14.3%
4歳(8-6-1-29) 18.2% 31.8% 34.1%
5歳(1-3-5-35) 2.3% 9.1% 20.5%
6歳(0-0-2-20) 0% 0% 9.1%
7歳以上(1-1-1-18) 4.8% 9.5% 14.3%

4歳馬がかなり優勢です。次に5歳馬。

6歳馬、7歳以上はやや苦戦傾向です。

6歳以上で馬券に絡んだ5頭を見てみると

2007年ポップロック(前走目黒記念1着)

2006年ナリタセンチュリー(前々走京都記念1着)

2006年バランスオブゲーム(前々走中山記念1着)

2004年タップダンスシチー(前走金鯨賞1着)

2003年タップダンスシチー(前走金鯨賞1着)

偶然か必然か...

近2走で重賞を勝っている馬ばかりです。

これに該当していない馬は(0-0-0-25)となっています。

今年の出走予定馬で見ると...

アサカディフィート

アドマイヤフジ

インティライミ

エアシェイディ

フォルテベリーニ

この5頭が該当してしまいます。

逆に、該当していない、

カンパニー、エイシンデピュティには期待出来そうですね。

所属

美浦(1-0-4-24) 3.4% 3.4% 17.2%

栗東(9-10-6-80) 8.6% 18.1% 23.8%

地方(0-0-0-4) 0% 0% 0%

関西馬優勢です。

関東馬は1999年にグラスワンダーが勝って以来、勝ち馬が出ていません。

まずは関西馬中心、相手に関西馬を絡める方向が良さそうです。

では、最後に前走データからどのようなローテが良いのか？
前走の着順や人気のデータなども合わせて見てみましょう。

前走

重賞(10-10-9-100)

G1(8-6-3-37)

| 天皇賞春(4-6-1-19)

| 安田記念(3-0-1-10)

|

G2(2-4-6-58)

| 金鯱賞(2-3-2-23)

| マイラース C(0-0-0-1)

| 目黒記念(0-1-2-26)

|

G3(0-0-0-5)

OP 特別(0-0-1-1)

1600 万下(0-0-0-1)

前走着順

前走 G1(海外除く)

1 着(3-3-1-7)

2 着(4-0-0-4)
3 着(0-1-0-2)
4 着(0-0-0-6)
5 着(0-1-0-4)
6 ~ 9 着(0-0-0-6)
10 着以下(0-1-2-8)

前走 G2

1 着(2-2-3-9)
2 着(0-1-2-10)
3 着(0-1-1-7)
4 着以下(0-0-0-32)

前走人気

前走 G1(海外除く)

1 番人気(3-2-2-6)
2 番人気(1-1-0-6)
3 番人気(1-0-0-2)
4 番人気(0-0-0-7)
5 番人気(0-1-0-2)
6 ~ 9 番人気(1-1-1-6)
10 番人気以下(1-1-0-8)

前走 G2

1 番人気(2-1-2-8)
2 番人気(0-1-0-13)
3 番人気(0-2-2-5)
4 番人気(0-0-2-4)
5 番人気以下(0-0-0-28)

今年の出走予定馬のローテを見てみると

・天皇賞春(4-6-1-19)

アサクサキングス

アドマイヤフジ

ドリームパスポート

メイショウサムソン

・安田記念(3-0-1-10)

エアシェイディ

・金鯱賞(2-3-2-23)

アサカディフィート

アドマイヤオーラ

インティライミ

エイシンデピュティ

カワカミプリンセス

サクラメガワンダー

・目黒記念(0-1-2-26)

アルナスライン

フォルテベリーニ

ロックドゥカンブ

・マイルズ C(0-0-0-1)

カンパニー

以上の5レースとなっています。

データでは、やはり天皇賞春と安田記念からのローテの馬が中心に活躍しています。

金鯱賞組の馬も好走が多いですね。

目黒記念からも少ないですが好走馬は出ていますが、やや劣勢です。

さて、前走着順で見てみましょう。

前走 G1 では惨敗馬の巻き返しが多少ありますが...

6～9 着(0-0-0-6)

10 着以下(0-1-2-8)

・・・とやや苦戦。

巻き返したのは

2006 年ナリタセンチュリー(前走天皇賞春 12 着)

2006 年バランスオブゲーム(前走安田記念 17 着)

2004 年リンカーン(前走天皇賞春 13 着)

この 3 頭は前走 G1 では惨敗していたものの、前々走では重賞を勝っていました。

これに該当していれば、巻き返しも期待できそうですが該当していなければやや割引きとなりそうですね。

今年では、ドリームパスポート。

前走天皇賞春で 9 着で前々走では産経大阪杯 4 着です。

期待したくなる 1 頭ですが、巻き返しの条件には該当していませんね。

前走 G2 では、傾向がはっきりしています。

前走 4 着以下で(0-0-0-32)

前走 5 番人気以下で(0-0-0-28)

これらに該当する馬は割引が必要ですね。

アサカディフィート (前走 13 番人気・10 着)

アドマイヤオーラ (前走 1 番人気・6 着)

カワカミプリンセス (前走 5 番人気・3 着)

サクラメガワンダー (前走 3 番人気・4 着)

フォルテベリーニ (前走 12 番人気・4 着)

きわどいラインですが、上記 5 頭が該当してしまいます。

宝塚記念のデータは以上です。

いかがでしょうか？

注目できる馬や危険っぽい馬など、なんとなくつかめそうですね。

宝塚記念の予想の参考のひとつとしていただければ幸いです。

全重賞データは私が発行するメルマガでやっていますので
よろしければどうぞご覧下さい<(_)>

<http://www.mag2.com/m/0000154729.html>

それでは、また次回お会いしましょう！

前川正光

函館開幕週の新馬戦データ

人気別データ

1 番人気(11-3-7-6) 40.7% 51.9% 77.8%
2 番人気(7-3-4-13) 25.9% 37.0% 51.9%
3 番人気(3-7-4-13) 11.1% 37.0% 51.9%
4 番人気(2-5-3-17) 7.4% 25.9% 37.0%
5 番人気(1-4-1-21) 3.7% 18.5% 22.2%
6 番人気(1-2-4-20) 3.7% 11.1% 25.9%
7 番人気(1-2-2-20) 4.0% 12.0% 20.0%
8 番人気(0-1-0-23) 0% 4.2% 4.2%
9 番人気(0-0-1-18) 0% 0% 5.3%
10 番人気以下(1-0-1-45) 2.1% 2.1% 4.3%

性別データ(牝馬限定除く)

牡(14-14-16-113) 8.9% 17.8% 28.0%
牝(8-8-6-41) 12.7% 25.4% 34.9%

主な騎手の成績

藤田(5-3-5-2) 33.3% 53.3% 86.7%
四位(3-2-4-8) 16.7% 38.9% 44.4%
横山典(2-2-3-7) 14.3% 28.6% 50.0%
勝浦(1-2-0-10) 7.7% 23.1% 23.1%
小野(1-1-0-9) 9.1% 18.2% 18.2%
菊沢(0-0-1-13) 0% 0% 7.1%

主な調教師の成績

山内研二(6-4-5-1) 37.5% 62.5% 93.8%

岩元市三(3-1-2-3) 33.3% 44.4% 66.7%
伊藤圭三(3-1-1-18) 13.0% 17.4% 21.7%
田村康仁(2-0-2-3) 28.6% 28.6% 57.1%
相沢郁(2-0-1-6) 22.2% 22.2% 33.3%
中村均(0-2-2-15) 0% 10.5% 21.1%

騎手 & 調教師

藤田・山内(3-3-5-0)
藤田・伊藤圭(2-0-0-1)
横山典・稲葉(1-1-0-0)
武豊・浅見(1-0-1-0)

2007 年開幕週の主な出走馬

ハウザン(札幌 2 歳 S・3 着、北海道優駿・2 着)

函館の新馬戦は波乱は少なく、3 番人気以内の複勝率は高いです。
特に 1 番人気の複勝率は 77%以上と非常に高い。
ほとんどのレースが 7 番人気以内で決着しています。

函館開幕週では断然山内厩舎と藤田騎手が良い成績です。
ご存知の方も多いと思いますが...

特に山内厩舎・藤田騎手のコンビでは過去 10 年(3-3-5-0)。
複勝率は 100%です。

福島開幕週の新馬戦データ

人気別データ

1 番人気(4-2-0-7) 30.8% 46.2% 46.2%
2 番人気(2-3-2-6) 15.4% 38.5% 53.8%
3 番人気(1-3-2-7) 7.7% 30.8% 46.2%
4 番人気(1-1-3-8) 7.7% 15.4% 38.5%
5 番人気(2-1-1-9) 15.4% 23.1% 30.8%
6 番人気(2-0-1-10) 15.4% 15.4% 23.1%
7 番人気(0-0-2-11) 0% 0% 15.4%
8 番人気(1-1-0-11) 7.7% 8.3% 25.0%
9 番人気(0-1-2-9) 0% 8.3% 25.0%
10 番人気以下(0-1-0-35) 0% 2.8% 2.8%

性別データ

牡(4-5-7-62) 5.1% 11.5% 20.5%
牝(9-8-6-51) 12.2% 23.0% 31.1%

主な騎手の成績

後藤(4-2-1-2) 44.4% 66.7% 77.8%
柴田善(3-1-1-3) 37.5% 50.0% 62.5%
中舘(1-3-0-5) 11.1% 44.4% 44.4%
田中勝(1-0-3-8) 8.3% 8.3% 33.3%
蛭名(0-3-0-5) 0% 37.5% 37.5%

主な調教師の成績

国枝栄(1-2-0-1) 25.0% 75.0% 75.0%
堀井雅広(1-2-0-0) 33.3% 100% 100%
田村康仁(1-1-0-3) 20.0% 40.0% 40.0%
和田正道(0-2-1-10) 0% 15.4% 23.1%

騎手&調教師

後藤・国枝(1-1-0-0)

田中勝・保田(1-0-0-0)

穂苅・和田(0-1-0-7)

2007年開幕週の主な出走馬

ダイワマックワン(クロッカスS・2着など)

カレイジャスミン(フローラS・2着)

ルルパンブルー(フェアリーS・1着、ファルコンS・3着など)

こちらも、比較的上位人気は安泰ですが、函館ほど1番人気の信頼度はありません。

また、新馬戦は比較的仕上がりの早い牝馬の成績が良いのですが、福島は特にその傾向が強いですね。

騎手ではやはり関東所属の上位騎手が良い成績です。

阪神開幕週の新馬戦データ

人気別データ

1番人気(6-2-2-1) 54.5% 72.7% 90.9%

2番人気(2-4-0-5) 18.2% 54.5% 54.5%

3番人気(0-1-3-7) 0% 9.1% 36.4%

4番人気(2-3-0-6) 18.2% 45.5% 45.5%

5番人気(0-1-2-8) 0% 9.1% 27.3%

6番人気(0-0-2-8) 0% 0% 22.2%

7番人気(0-0-0-10) 0% 0% 0%

8 番人気(1-0-1-7) 11.1% 11.1% 22.2%

9 番人気(0-0-0-7) 0% 0% 0%

10 番人気以下(0-0-1-17) 0% 0% 5.6%

性別データ

牡(3-5-4-51) 4.8% 12.7% 19.0%

牝(8-6-7-25) 17.4% 30.4% 45.7%

主な騎手の成績

福永(3-3-0-4) 30.0% 60.0% 60.0%

武豊(3-2-2-2) 33.3% 55.6% 77.8%

小牧(1-1-0-2) 25.0% 50.0% 50.0%

池添(1-0-1-4) 16.7% 16.7% 33.3%

安藤勝(1-0-0-3) 25.0% 25.0% 25.0%

岩田康(0-0-0-5) 0% 0% 0%

主な調教師の成績

浅見秀一(2-2-1-1) 33.3% 66.7% 83.3%

岩元市三(1-2-2-4) 11.1% 33.3% 55.6%

山内研二(1-0-2-2) 20.0% 20.0% 60.0%

坂口正則(0-2-1-3) 0% 33.3% 33.3%

騎手 & 調教師

武豊・浅見(2-1-0-0) 50.0% 100% 100%

福永・瀬戸口(1-1-0-0) 50.0% 100% 100%

和田・岩元(0-2-1-3) 0% 33.3% 50.0%

2007 年開幕週の主な出走馬

エイシンパンサー(ファンタジーS・3 着)

オディール(ファンタジーS・1 着など)

ポルトフィーノ(エルフィン S・1 着)

少頭数のレースもあり、比較的堅い決着が多く波乱は起きていません。

1 番人気は複勝率 90%ととても堅実です。

性別では、こちらも牝馬が優勢。

牡馬は単勝回収率が 9%、複勝回収率 29%となっていて、馬券に絡むのは人気馬ばかり。

対して、牝馬は単勝回収率 150%、複勝回収率 131%と比較的人气薄も絡む傾向です。

以上です。

夏競馬が始まるのは 6 月 21 日からですので、もう少し日にちがありますが難解な夏競馬を乗り切るために、気になっているデータなどはあらかじめ調べておくと良い結果に結びつくことが多いですよ。

今回の例でいけば、「藤田-山内は新馬で強い」という感覚や知識は競馬をよくやる方ならご存知だと思います。

じゃあ、どのくらい強いのか？
と言ったことをデータで調べて裏付ける。

今回の場合でしたら、「開幕週過去 10 年馬券を外していない」となります。

すなわち...

「こうなんじゃないかなー？」
「こういう時はどのくらい複勝率があるんだ？」という感覚や疑問。

データを調べてみる

「確かにそうだった、複勝率は % だった！」
「案外そうでもなかった...(汗)、じゃあこれなら??」

感覚 データ 確信(確認)

いつも、私はこれの繰り返しです(笑)

さて、今回は基本的な、函館競馬場の騎手・調教師・種牡馬ランキングデータを
ファイルにまとめてありますので宜しければどうぞご利用下さい。

<http://datakeiba.client.jp/muryou.html>

では、今日はこの辺で。

前川正光

infojust 「2003年有馬記念と、私の関係？」

こんにちは！

“データ競馬”を専門にやっております、前川です。

インフォジャストさんから隔週にてメルマガ配信しております。

今回は第6回です。

バックナンバーはインフォジャストトップページのお知らせからご覧下さい。

<http://www.infojust.jp/>

今日はデータを中心とした話ではなく、ちょっとした思い出話を...(笑)

よろしければどうぞお付き合い下さい<(_)>

私は、競馬をまともに始めたのは十数年前、ちょうどサンデーサイレンス産駒旋風が起こり始めたころです。

ジェニュイン、ダンスパートナー、バブルガムフェロー
イシノサンデー、ロイヤルタッチ・・・

マニアックなところではサマーサスピションとかチアズサイレンスなど
まあ、とにかくサンデーサイレンス産駒が盛り上がっていました。

そんな頃、競馬を始めた私ですが、初的には1996年スプリングSの
キャッシュラボーラの複勝。配当280円。

このレースはバブルガムフェローの圧倒的 1 番人気で出走馬の半分が単勝 100 倍以上というレースでしたね。

もちろんバブルガムフェローが人気に応えて快勝しましたが、その 3 着にキャッシュラボーラが入りました。

まあ、何でキャッシュラボーラを買ったかは覚えていませんが...

ちなみに、この時はスプリング S と毎日杯が同日開催だったんですよ。そのときの毎日杯の勝ち馬はタイキフォーチュンでした。懐かしいねえ。

あと、鮮明に覚えているのが、その年のダンスインザダークが勝った菊花賞ですね。

私は、ダンスインザダークよりもロイヤルタッチ派(?)だったのでロイヤルタッチからダンスインザダーク、サクラケイザンオーローゼンカバリーの馬連流し。

「サンデー馬券」(この頃からそう言われていたかは定かではありませんが...)

で見事的中し、帰りにセガサターンを買っていった記憶があります(笑)

わからない方スイマセン(汗)

まあ、とにかく毎週のようにウインズや競馬場に行っていました。

でも、今のようにデータを駆使して予想するわけでもなく、その日に買った競馬新聞を見て、関係者コメントとか予想屋の印などを参考に買っていたものです。

負け続けていましたが、楽しい日々でした。

さて、そんなこんなで...(?)

私の競馬人生がはじまってしまいましたが、今のようにデータを使い、競馬の研究をするきっかけとなったのは、2003年有馬記念のあった日、シンボリクリスエスの最後のレースのときです。

あの日は友人と昼頃からウインズに行ってましたが、買った最初のレースでいきなり万馬券を的中！

中山 6R グッドラックハンデ、6番人気ストレイラルホークから全通り馬連流し。このとき、2着に9番人気ショウナンアカツキが入り 10380円。万馬券 GET しました。

有馬記念まで、まだ数レースあるし、資金も万馬券の中で余裕があるので浮かれ気分。その日は穴馬に走り始めました(笑)

しかし、それが間違っていました(汗)

その後のレースは連戦連敗…。ついには有馬記念前にプラスとなっていた資金はマイナスへ転じ、有馬記念へ突入。。。。

そのときの私は、有馬記念で取り返してやろうと必死だったんですねー。

アグネスデジタル軸で馬連全通り、さらにおまけで単勝 500 円購入しました。

そのときの馬券 & レース動画

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/archives/51386178.html>

「アグネスデジタルう、また奇跡を起こしてくれえー」なんて思っていたが
...

9 着に敗退。

そして私も惨敗...

寂しかったですねー。ハッピーエンドカップも出来ずに帰りました...

友人はリンカーン軸で的中してました。お見事(泣)

その時が悔しくて、明けて翌年から JRA-VAN に加入して、いろいろなソフトを
使いながら、データを収集分析し、自分自身の研究のためにブログも立ち上げ

そして...今に至ります。

やっぱり、悔しくて、どうにかしてやろうと、現在まで頑張ってきた成果が

今にあらわれているような気がしています。

今現在、配信している「今日の消去馬&推奨馬」での結果では、半分ぐらいは的中できますし、万馬券も研究したデータ分析で獲ることも出来るようになりました。

明らかに、2003年の有馬記念の時の自分とは変わりました。
まだまだ未熟者ですけどね(汗)

競馬は、何が起こるかわからない部分も多くあり、楽に勝てるほど甘いものではありませんが、自分が何とかしてやろうという努力をすれば、必ず良い結果に結びつくと思っています。

「運」もあるでしょうけど、「努力」も必要だと感じます。

きっかけが、「競馬商材」でも「有料配信」でも何でも良いと思います。
合っている方法を見つけ出し、またはアレンジをして自分好みにして使い倒し分析してみる。

どんなアプローチの方法でも、勝てるポイントはあると思います。
そんな考えで競馬をやると、より楽しくなってきますよ。

私は毎週、「今日の消去馬&推奨馬」のデータ作成のために金土と合わせて12時間以上かけて準備しますし、メルマガは3つありますのでそれぞれの配信もしています。さらにブログでの重賞データの更新、依頼のあった予想原稿の作成その他検証している予想法の研究など、多岐にわたりいろいろやっていますが面倒だなと思ったことは一度もありません。

もちろん、「今日の消去馬&推奨馬」の会員の方々のためやメルマガ、ブログの読者様のためでもあります。むしろ一番は、自分が競馬で勝てるためにやっていることですので、毎週楽しくてしょうがありませんよ(^^)

そんな感じで...

私は5年ほど前から、データ競馬を主として、ネット上でブログ、メルマガなどを中心に活動しています。

どうか、今後ともお付き合いのほど、宜しくお願い致します。

前川正光(まえかわまさてる)

infojust 「NHKマイルCと東京芝 1600m の傾向とデータとは？」

“データ競馬”を専門にやっております、前川です。
インフォジャストさんから隔週にてメルマガ配信しております。

今回は第5回です。

バックナンバーはインフォジャストトップページのお知らせからご覧下さい。

<http://www.infojust.jp/>

今回は今週のNHKマイルCに向けて東京芝 1600m の傾向とデータを見
みようと思います。

同コースではヴィクトリアマイルや安田記念もありますので、今後の
G1 対策としても参考にしてみてください。

データは2006年以降を参照しています。

数値の見方

項目(着別度数) 勝率 連対率 複勝率

まずはコース形態です。

東京芝 1600m は向う正面直線の右端からスタートするコースです。
スタート後、向う正面の直線を目一杯使いますので、枠による有利不利は
ないと見てよさそうです。

スタート直後は下り坂のため、前半はペースが速くなることがあります。
また、直線主体のコースであるため息を入れることができなく、
スタミナを要しますので、1800m~2000mの中距離でも好走できるような
馬が良い傾向です。

前走からの距離延長では信頼度がやや下がるデータとなっています。
脚質的には、意外に先行勢が残りやすく、極端な追い込み馬は届かない
ことが多いですね。

では、前走距離と脚質のデータを見てみましょう。

前走距離データ

1200m以下(6-10-11-202) 2.6% 7.0% 11.8%

1300m(0-0-0-18) 0% 0% 0%

1400m(15-11-17-237) 5.4% 9.3% 15.4%

1500m(0-2-3-22) 0% 7.4% 18.5%

1600m(58-51-59-493) 8.8% 16.5% 25.4%

1700m(1-1-0-32) 2.9% 5.9% 5.9%

1800m(23-27-22-294) 6.3% 13.7% 19.7%

2000m(9-10-8-93) 7.5% 15.8% 22.5%

2200m以上(6-2-0-26) 17.7% 23.5% 23.5%

距離延長(21-23-31-482) 3.8% 7.9% 13.5%

同距離(58-51-59-493) 8.8% 16.5% 25.4%

距離短縮(40-41-30-446) 7.2% 14.5% 19.9%

距離延長連対率 7.9%に対して、同距離 16.5%、距離延長 14.5%と高い

データになっていますね。

過去のNHKマイルCでも、毎日杯やニュージーランドT、桜花賞
皐月賞などからのローテの馬が目立って好走しています。

今週のNHKマイルCで予想するときは参考にしてみてください。
詳しいデータは私のブログにて公開しています。

激走！データ競馬ブログ

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/>

脚質データは以下のとおりとなっています。

逃げ(15-15-9-99) 10.9% 21.7% 28.3%

先行(53-54-35-352) 10.7% 21.7% 28.7%

差し(52-51-72-646) 6.3% 12.5% 21.3%

追込(18-18-21-528) 3.1% 6.2% 9.7%

直線が長くても、意外と逃げ先行の好走が多いですね。

ただし、逃げ馬は連対率 21.7%と良い成績なのですが、このうち
前走からの距離延長だった馬(3-2-2-34)連対率 12.2%と落ち込み
ますので注意が必要です。

では次に、主なレースとその勝ち馬も見てみましょう。

クイーンC リトルアマポーラ、イクスキューズ、コイウタ
東京新聞杯 ローレルゲレイロ、スズカフェニックス、フジサイレンス
NHKマイルC ピンクカメオ、ロジック
安田記念 ブリッシュラック、ダイワメジャー
ヴィクトリアマイル ダンスインザムード、コイウタ

大きなレースでは、サンデーサイレンス系が強いですね。
出走頭数も多いのですが、それでも顕著な傾向です。

ローレルゲレイロ、ピンクカメオ、ブリッシュラックなどは
ノーザンダンサー系です。
この系統も活躍していますね。

これらを裏付けるのは、種牡馬データです。ご覧下さい。

種牡馬(勝ち数ベスト10) 出走機会10回以上

1	アグネスタキオン	(9-6-6-51)	12.5%	20.8%	29.2%
2	フレンチデピュティ	(8-3-1-19)	25.8%	35.5%	38.7%
3	サンデーサイレンス	(7-12-9-92)	5.8%	15.8%	23.3%
4	フジキセキ	(7-6-2-44)	11.9%	22.0%	25.4%
5	ダンスインザダーク	(6-5-4-58)	8.2%	15.1%	20.5%
6	マンハッタンカフェ	(6-3-1-16)	23.1%	34.6%	38.5%
7	タイキシャトル	(4-7-6-27)	9.1%	25.0%	38.6%
8	キングヘイロー	(4-3-4-29)	10.0%	17.5%	27.5%
9	メジロライアン	(4-2-1-15)	18.2%	27.3%	31.8%
10	ブライアンズタイム	(4-1-0-32)	10.8%	13.5%	13.5%

種牡馬(複勝率ベスト 10) 出走機会 10 回以上

1	シンボリクリスエス(3-3-0-5)	27.3%	54.5%	54.5%
2	アドマイヤコジーン(1-4-2-6)	7.7%	38.5%	53.8%
3	ゼンノエルシド (3-1-1-7)	25.0%	33.3%	41.7%
4	フレンチデピュティ(8-3-1-19)	25.8%	35.5%	38.7%
5	タイキシャトル (4-7-6-27)	9.1%	25.0%	38.6%
6	マンハッタンカフェ(6-3-1-16)	23.1%	34.6%	38.5%
7	マーベラスサンデー(2-1-2-10)	13.3%	20.0%	33.3%
8	メジロライアン (4-2-1-15)	18.2%	27.3%	31.8%
9	タニノギムレット (0-5-2-15)	0%	22.7%	31.8%
10	ホワイトマズル (2-1-1-9)	15.4%	23.1%	30.8%

総じて言えることは、サンデーサイレンスやブライアンズタイムなどのターントゥ系、特にサンデーサイレンスの仔、フジキセキやアグネスタキオン、マンハッタンカフェなどの産駒が活躍しています。

次に、キングヘイロー、フレンチデピュティ、ゼンノエルシドなどが上位に食い込んでいるようにノーザンダンサー系も活躍していますね。

基本的にはこの2系統で、その他の系統ではグレイソヴリン系となるアドマイヤコジーンが複勝率2位にいる程度で、顕著な活躍はしていない点を押さえておくと良いかと思います。

ちなみに、昨年のNHKマイルCでは

ピンクカメオ(父フレンチデピュティ)
ローレルグレイロ(父キングヘイロー)
ムラマサノヨートー(父キングヘイロー)

この前のクイーン C では

リトルアマポーラ(父アグネスタキオン)

ライムキャンディ(父タニノギムレット)

ラルケット(父ファルブラヴ) ノーザンダンサー系

と、上位種牡馬の産駒が活躍していましたね。

血統は専門ではありませんので、詳しくはなのですが、データから見た場合このような傾向となっています。ご参考までに。

最後に、騎手データをご覧下さい。

騎手(勝ち数ベスト 10) 出走機会 10 回以上

- 1 後藤 (11-11-12-67) 10.9% 21.8% 33.7%
- 2 藤田 (10-11-6-46) 13.7% 28.8% 37.0%
- 3 北村宏(10-9-8-76) 9.7% 18.4% 26.2%
- 4 安藤勝(10-8-4-15) 27.0% 48.6% 59.5%
- 5 横山典(9-8-13-53) 10.8% 20.5% 36.1%
- 6 武豊 (9-7-4-20) 22.5% 40.0% 50.0%
- 7 蛭名 (8-13-5-74) 8.0% 21.0% 26.0%
- 8 田中勝(5-14-11-66) 5.2% 19.8% 31.3%
- 9 柴田善(5-11-6-57) 6.3% 20.3% 27.8%
- 10 勝浦 (5-0-5-67) 6.5% 6.5% 13.0%

騎手(複勝率ベスト 10) 出走機会 10 回以上

- 1 安藤勝(10-8-4-15) 27.0% 48.6% 59.5%

- 2 武豊 (9-7-4-20) 22.5% 40.0% 50.0%
- 3 藤田 (10-11-6-46) 13.7% 28.8% 37.0%
- 4 横山典(9-8-13-53) 10.8% 20.5% 36.1%
- 5 後藤 (11-11-12-67) 10.9% 21.8% 33.7%
- 6 田中勝(5-14-11-66) 5.2% 19.8% 31.3%
- 7 岩田康(2-4-7-31) 4.5% 13.6% 29.5%
- 8 柴田善(5-11-6-57) 6.3% 20.3% 27.8%
- 9 北村宏(10-9-8-76) 9.7% 18.4% 26.2%
- 10 蛭名 (2-13-5-74) 8.0% 21.0% 26.0%

トップ 10 は勝ち数と複勝率で多少の順位の入替わりがある程度でほとんど同じような顔ぶれですね。

複勝率トップ 3 は安藤勝 59.5%、武豊 50.0%、藤田 37.0%と関西騎手が占めています。

以上で東京芝 1600m のデータを終わります。

いかがでしたでしょうか？

これからの G1 で参考にさせていただければ幸いです。

おわりに...

私が配信しております、「今日の消去馬&推奨馬」ですが、大変多くの方に
ご入会・ご活用いただき、本当に嬉しい限りです。ありがとうございます。

配信開始以来、万馬券を的中したり、的中率も 60~70%以上を記録するなど自分でもビックリするほど良い成績を持続しております。

今後も、精度の高い配信を維持できるよう頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

それでは、また次回お会いしましょう！

前川正光

infojust 【知っていれば必ず役立つ「調教師と騎手の関係」】

こんにちは！

“データ競馬”を専門にやっております、前川です。

インフォジャストさんから隔週にてメルマガ配信しております。

今回は第4回です。

バックナンバーはインフォジャストトップページのお知らせからご覧下さい。

<http://www.infojust.jp/>

いよいよ、今週から東京・京都開催となり、春競馬もいよいよ大詰めですね。

天皇賞春を皮切りに、NHKマイルC、ヴィクトリアマイル、オークス、ダービー安田記念とG1が続きます。

さて、そんな盛り上がる東京・京都開催で知っていれば必ず役立つ

「調教師と騎手の関係」についてデータをまとめていきたいと思えます。

まずは、東京競馬場、京都競馬場の調教師ランキングを作成しましたのでどうぞご利用ください。

検証期間は2006年以降

レース機会数10回以上

数値の見方

項目(着別度数) 勝率 連対率 複勝率

「調教師ランキング」

東京

1位(美)藤沢和雄(34-36-19-120)	16.3%	33.5%	42.6%
2位(美)国枝栄 (25-17-18-150)	11.9%	20.0%	28.6%
3位(美)萩原清 (24-21-15-100)	15.0%	28.1%	37.5%
4位(美)戸田博文(24-21-6-176)	10.6%	19.8%	22.5%
5位(美)大久保洋(24-18-15-147)	11.8%	20.6%	27.9%
6位(美)小島太 (22-15-13-124)	12.6%	21.3%	28.7%
7位(美)田村康仁(19-19-17-166)	8.6%	17.2%	24.9%
8位(美)久保田貴(19-18-10-96)	13.3%	25.9%	32.9%
9位(美)尾形充弘(18-13-17-133)	9.9%	17.1%	26.5%
10位(美)加藤征弘(17-22-13-120)	9.9%	22.7%	30.2%

京都

1位(栗)松田博資(39-24-18-125)	18.9%	30.6%	39.3%
2位(栗)池江泰郎(27-12-19-111)	16.0%	23.1%	34.3%
3位(栗)橋口弘次(25-23-20-149)	11.5%	22.1%	31.3%
4位(栗)友道康夫(25-13-15- 90)	17.5%	26.6%	37.1%
5位(栗)角居勝彦(24-20-20-100)	14.6%	26.8%	39.0%
6位(栗)岡田稲男(23-15-21-161)	10.5%	17.3%	26.8%
7位(栗)音無秀孝(22-25-15-108)	12.9%	27.6%	36.5%
8位(栗)松田国英(22-24-17-104)	13.2%	27.5%	37.7%
9位(栗)池江泰寿(22-19-8- 82)	16.8%	31.3%	37.4%
10位(栗)鮫島一步(21-18-14-125)	11.8%	21.9%	29.8%

続きはこちら

<http://datakeiba.client.jp/muryou.html>

ここまでは、よくあるランキングと同じですが、これに
騎手データを絡めて、さらに細分化してみます。

それぞれを全てやると、膨大なデータとなってしまいますので
ここでは東京・京都の上位 5 位までの調教師で見てもよいと思います。

東京

藤沢和雄

北村宏(19-5-5-51)
横山典(7-9-5-27)
田中勝(4-2-4-6)
安藤勝(3-2-0-1)
武豊(1-3-3-10)

所属の北村宏がほとんどですが、横山典、田中勝、安藤勝、武豊が
乗ったときにも注目。

国枝栄

後藤(10-6-10-30)
蛸名(7-7-2-32)
横山典(1-1-2-6)
北村宏(1-1-1-16)

国枝調教師はやはり後藤騎手とのコンビで良い成績です。

萩原清

横山典(7-8-3-24)

後藤(7-4-2-21)

松岡(3-3-5-18)

柴田善(3-1-1-1)

内田博(1-2-2-4)

横山典、後藤騎手など関東の上位騎手のときが良いデータです。
関西騎手とのコンビでは(1-2-0-15)

戸田博文

安藤勝(4-1-0-7)

藤田(3-6-1-17)

吉田豊(3-2-1-28)

勝浦(2-1-0-6)

横山典(1-2-1-7)

菊沢隆(1-1-1-12)

戸田調教師は、萩原調教師とは逆に、安藤勝、藤田など関西騎手で
良い成績を残しているのが特徴ですね。

大久保洋

吉田豊(21-11-12-108)

吉田隼(2-0-0-2)

内田博(1-0-0-2)

蛭名(0-5-0-5)

高橋智(0-0-3-9)

大久保洋調教師は、所属の吉田豊騎手でほとんど勝っています。

京都

松田博資

安藤勝(20-6-4-32)

岩田康(11-9-8-28)

高田潤(3-3-2-27)

武豊(3-0-0-3)

川田(0-1-1-12)

安藤勝、岩田康の騎乗が多いですね。

特に、安藤勝、岩田康騎乗で1~3番人気に支持されている時はかなりの確率で馬券に絡んできます。(27-11-10-28)複勝率 63.2%

池江泰郎

武豊(6-3-4-10)

藤岡佑(5-1-4-6)

岩田康(3-2-1-8)

熊沢重(3-1-4-12)

四位(3-0-3-0)

幸(3-0-1-10)

武豊騎手が良いデータですが、藤岡佑騎手は人気がなくとも馬券圏内に持ってきています。回収率...単 355%、複 230%。

橋口弘次

小牧(10-7-4-47)

安藤勝(5-3-3-8)

武豊(4-5-3-14)

上村(4-3-4-44)

ルメール(0-3-1-14)

小牧騎手の騎乗が多いですが、安藤勝、武豊騎手が騎乗するときは注目ですね。

友道康夫

岩田康(12-3-10-27)

川田(3-0-0-9)

安藤勝(2-0-0-3)

福永(1-2-1-5)

上村(1-2-0-11)

友道調教師は岩田康騎手で良いデータです。

角居勝彦

武豊(6-4-2-11)

岩田康(4-2-6-11)

四位(3-3-4-18)

川田(1-2-2-13)

池添(1-1-1-6)

福永(1-0-2-9)

武豊、岩田康騎手が良いですね。

以上です。

調教師それぞれで特徴が出ていますね。

こういったことから、勝負度合いなどをはかることもできると
思いますので、どうぞ参考にしてみてください。

次週はいよいよ天皇賞春ですね。

登録馬で調教師と騎手の関係で見ると

アドマイヤジュピタ...友道-岩田康

アドマイヤモーク...松田博-安藤勝

ココナッツパンチ...大久保洋-吉田豊

ですね(^^)

では、また次回お会いしましょう！

前川正光

infojust 「“ベテラン VS 若手” 軸にするなら...さあどっち？」

こんにちは！

“データ競馬”を専門にやっております、前川です。

インフォジャストさんから隔週にてメルマガ配信しております。

今回は第3回です。

バックナンバーはインフォジャストトップページのお知らせからご覧下さい。

<http://www.infojust.jp/>

さて、今回も競馬のデータのお話です。どうぞ宜しくお願い致します<(_ _)>

今回は、軸馬選びについてです。

皆さんは、軸馬の選ぶ基準って何ですか？

「オッズ」ですか？

「調子」ですか？

「情報」ですか？

私の場合、騎手で選ぶことが良くあります。

騎手は、以前お話したとおり、データで見ると騎手それぞれで傾向がよく出ているので、最後の選択をするときなど、騎手で選ぶと良い結果に結びつくことが多いのです。

軸を選ぶときは、やはり人気馬をコカす騎手は避けたいですね。
まあ、誰もが思うことですけど...

でも、誰が良いのか？

なんとなく、武豊騎手や安藤勝騎手なら安心できそうですが...
そう思われる方がほとんどだと思います。

でも、実はもっと信頼度の高い騎手はたくさんいるんですよ。

「えー、ユタカにアンカツ...それ以上の騎手なんていないだろう」

そう誰もが思いますよね。

(これからお教えするデータを知っている方は別ですが...)

もちろん、武豊騎手も、安藤勝騎手もとても素晴らしい成績です。

ですが！

ある条件下では、それ以上に良い成績を残す騎手はたくさんいるということも知っておいたほうが、今後のタメになると思います。

さて、どんなデータでしょう？

まあ、データを分析する方なら、すぐに調べることができるかもしれませんがわからない方のために、今回は私がよく使っているデータを差し上げようと思います。

無料データファイル

『1・2番人気における騎手別複勝率ランキング』

(1番人気の単勝オッズ 3.0 倍以上のレース対象)

題名のとおり、1・2番人気に騎乗したときの成績です。これが上位になるほど複軸として信頼度は高まりますね。

1番人気の単勝オッズ3.0倍以上のレースを対象としたのは、何故かというと単勝1倍台や2倍台なら、その人気になった1番人気を軸としたほうが良いと私は考えていますので...。(それぞれのレースによりますが基本的に...)

オッズでもなかなか判断がつきにくい時の参考になるようにこのようなデータファイルとしました。

トップ10は以下のとおりになっています。

順位	騎手	着別度数	複勝率
1位	松田大作	(7-10-3-8)	71.4%
2位	北村友一	(12-4-10-13)	66.7%
3位	木幡初広	(9-14-8-16)	66.0%
4位	塚田祥雄	(6-8-6-12)	62.5%
5位	長谷川浩	(12-3-5-13)	60.6%
6位	小林徹弥	(4-5-3-8)	60.0%
7位	石橋脩	(7-14-9-21)	58.8%
8位	川島信二	(6-7-4-12)	58.6%
9位	熊沢重文	(6-2-6-10)	58.3%
10位	小牧太	(21-12-8-30)	57.7%

過去24ヶ月、1・2番人気に騎乗した回数が20回以上の騎手を対象としています。リーディング順位とはかなり違いますね。

特に松田大、北村友、長谷川、石橋脩など若い騎手が頑張っている点に注目してください。安藤勝、武豊、岩田康よりも上位なんですね。

少ないチャンスですから、やはり気合いが違うということでしょうか？
それとも、武豊騎手などの騎乗馬は実力のない馬でも、騎手で人気上位になってしまうから、人気を裏切ってしまうのか...？

まあ、色々な要素はあると思いますが・・・

17 位安藤勝

31 位岩田康

50 位武豊

となっています。

もちろん、下位だからと言っても良い成績であることには変わりないので「消し」の材料とはなりませんのでご注意を。

データファイルはこちらからダウンロードできます。

<http://datakeiba.client.jp/muryou.html>

このデータは、例えばこんなとき使えますね。

例題

1月5日京都 12R 4歳上 1000万下

人気順

人気	馬名	騎手	単勝オッズ
1	マイネルソリスト	岩田康誠	3.0
2	ケイアース	長谷川浩	3.7
3	ディープスピリット	池添謙一	7.6
4	ジャングルテクノ	秋山真一	7.6
5	ワンマンシャチヨウ	石橋守	11.6
6	タケイチゼット	和田竜二	12.3
7	トレノジュビリー	藤田伸二	14.7
8	アマノトレンディー	赤木高太	31.0
9	スリースピニング	上村洋行	42.1
10	キングオブロマネ	太宰啓介	49.1
11	シャイニングアレキ	藤岡佑介	51.1
12	トゥケンショウブ	中村将之	54.8
13	タムロスターディ	幸英明	62.3
14	グレイシアブルー	角田晃一	98.0
15	テンザンアモーレ	藤岡康太	115.7
16	ウイニングザバロン	渡辺薫彦	156.4

単勝 3倍台 2頭で 7番人気まで 10倍台とかなりの混戦です。

こんなとき、軸がピシッと決まれば、少しは手広くいけますよね(^^)

ここで、このデータの出番です。

長谷川騎手は人気のときに高い複勝率をマークしていたな...

岩田康よりは...

長谷川騎手は1・2番人気なら60.6%という複勝率でした。
じゃあ、長谷川騎手を軸だな。

長谷川騎手頼む！！

こう考えることもできるわけです。

実際に、このレースは

長谷川騎手騎乗のケイアースが見事1着！
岩田騎手のマイネルソリストは7着に沈みました....

騎手データの利用方法は、いろいろとありますが、これはその1つです。
こういうことがわかっているならば、予想力はどんどんアップすると思います。

まあ私の場合、これらのデータをもっと細分化し、他のファクターも
組み合わせてやっていますので、ひと言ではなんとも言えませんが、
とりあえず、ひとレース、ひとレース、人から見ればかなり面倒な作業を
して予想をしています(笑)

その過程で得たデータや情報を整理して出た答えのひとつを「商材」にしたり「メルマガ」などで情報を配信したりしています。

今後も有益なデータを配信できるよう頑張っていきたいと思います。
宜しくお願い致します<(_)>

最後になりますが...

今月の19日から、有料版のデータ配信します！

タイトルは

『騎手、条件、コースデータ理論で悩み解消！今日の消去馬&推奨軸馬』

騎手データをベースとして、レースデータ、コースデータ、その他様々なデータなどから「消去できる馬」「推奨できる馬」と「出走全馬の複勝期待値」も掲載して、主要2会場のほぼ全てのレースを対象としてデータ配信します。

前々回と今回お話した、騎手データはけっこうキモの部分なんです。実は、言っちゃいましたけどね...(汗)

詳しくは後日、インフォジャストさんよりお知らせがあると思います。

それでは、今日はこの辺で！
また、次回お会いしましょう！

前川正光

■infojust 「最終週だから差し・追込有利？それって本当？」

こんにちは！

先日、インフォジャストさんのメルマガに突然登場しました前川です。

どこの誰だかわからない奴がいきなり現れて、ビックリした方も多いかと思いますが、隔週でこれからも登場します！

私の専門は「データ競馬」ですので、データばかりの話をしていきますが、少しずつ慣れてください(笑)

どうぞ宜しくお願い致します<(_)>

自己紹介は前号でやりましたので、今回は端折りますね。

前号はインフォジャストトップページのお知らせからご覧下さい。

<http://www.infojust.jp/>

さて、今週からいよいよ春 G1 が始まります。まずは高松宮記念ですね！

今日は、その高松宮記念でも参考になるデータの話です。

高松宮記念は 1996 年に 2000m から 1200m に変更され G1 へ昇格。2000 年には 5 月開催から 3 月開催へ移行していますね。

3 月開催になってからは、1 回中京の最終週となりました。

最終週…。よく言われているのは…

『馬場荒れ、差し・追込みが決まる』

雑誌や新聞の記事などでも目にしますよね。

まあ実際、開催がすすむごとに、コースの内側が荒れてきますので、馬場の良い外を通ってきた馬が差しして来る…。容易に想像は出来ますし、そんな光景を良く見ますね。

昨年のスズカフェニックス、パールギユントもそんな感じでした。

でも…ちょっと、こんなこと思いませんか？

どのくらい差し・追込みが来るのか？

逃げ馬は本当にあまり来ないのか？

開幕週と最終週を比較すると、どの程度の違いがあるのか？

私は思うんですけどね(笑)

こう言ったことって、あまり説明されていませんよね。

根拠となるデータの掲載もしていないですし…。

そこで、今回はこれについて、すなわち中京開幕週と最終週の違い
脚質別の成績について調べてみました。

対象データは 2006 年以降のデータを参照します。(芝レースのみ)

脚質の判定は JRA-VAN に準じています。各コーナーで 1 度でも先頭を走った馬は、逃げ。他は、頭数を 3 で割り、その数分の頭数(最大でも 5 頭)で先頭から 3 つのグループに分けます。そして 4 角で 3 番目のグループに位置している場合は、追込。また 4 角で 2 番手のグループにいる場合は、差し。ただし、最高でも 4 角で 5 番手以下。上記の他で 4 角で 1 番目のグループにいる場合は、先行となります。

数値は(着別度数)勝率 連対率 複勝率

・中京開催、開幕週の脚質別データ

逃げ(24-13-10-48) 25.3% 38.9% 49.5%
先行(39-41-30-225) 11.5% 23.9% 32.8%
差し(24-30-44-450) 4.4% 9.9% 17.9%
追込(3-5-4-384) 0.8% 2.0% 3.0%
マクリ(0-1-2-4) 0% 14.3% 42.9%

4 角位置

1 番手(25-17-12-36) 27.8% 46.7% 60.0%
10 番手以下(5-7-9-494) 1.0% 2.3% 4.1%

・中京開催、最終週の脚質別データ

逃げ(12-13-13-66) 11.5% 24.0% 36.5%
先行(42-46-31-223) 12.3% 25.7% 34.8%
差し(30-30-40-484) 5.1% 10.3% 17.1%
追込(10-2-10-433) 2.2% 2.6% 4.8%

マクリ(1-4-1-7) 7.7% 38.5% 46.2%

4角位置

1番手(13-14-12-56) 13.7% 28.4% 41.1%

10番手以下(12-8-15-533) 2.1% 3.5% 6.2%

開幕週の逃げ馬は勝率 25%ほどとなりとても良い成績ですね。4角先頭なら複勝率 60%にもなります。

しかし、最終週では逃げ馬の勝率は 11.5%まで下がっています。

と言うことは、やはり最終週は「差し・追込」か？となりそうですが実は、そうではないようです。

差しと追込の開幕週と最終週を比較してみると...

「差し」複勝率 17.9% 17.1%

「追込」複勝率 3.0% 4.8%

差し・追込みの好走率はそれほど変わらないんです。

すなわち、逃げ馬の逃げ切りが少なくなり、その分先行馬が台頭するといった傾向なんですね。

ですから、最終週だからと言って、むやみに差し・追込を狙う必要はないわけなんです。特に追込は最終週でもあまり期待できません。

ざっと脚質のデータを見てきましたが、実際では、脚質はレースが始まってみないとわかりませんよね。

新聞などにも、逃げとか差しとか書いてありますが、それはそれまでの出走レースを参考にして掲載されていますので、追込馬が突然、先行してレースをすることだってありますよね。

でも、こればかりは誰にもわかりません(笑)

そこで、こんなデータが参考になると思います。

前走 4 角位置(中京芝の最終週)

1 番手(10-17-12-84) 8.1% 22.0% 31.7%

5 番手以内(55-54-47-447) 9.1% 18.1% 25.9%

:

10 番手以下(14-11-17-367) 3.4% 6.1% 10.3%

13 番手以下(7-5-4-183) 3.5% 6.0% 8.0%

前走の 4 コーナーでの位置取りによって、傾向がはっきりしています。
これを見る限りでは...後ろにいればいるほど成績は悪くなっていますね。

10 番手以下なら連対率は 6.1%...

割引きとなりそうです。

(G1 勝ちのある差し追込馬は例外的存在です)

「差し馬」や「追込馬」を狙う際には、前走4角位置のこのデータを思い返してみてください。

きっと役立つと思います。

今回は脚質のデータを中心に書いてみましたがいかがでした？
これによって、少しは今週の中京開催での狙いの馬が見えてくるかな。

高松宮記念の詳細なデータは私のブログにて公開していますので、お暇なとき
にでも、見に来てください。

激走！データ競馬ブログ(高松宮記念データ)

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/archives/51326372.html>

では、今日はこの辺で！
また次回お会いしましょう。

前川正光

infojust 「データ競馬アナリスト」初登場！消しの武豊！？

はじめまして、前川と申します。

まずは、ちょっと自己紹介を...

私は、競馬歴は13年程。5年ほど前から「データ競馬」にハマってしまい、それ以来『激走！データ競馬』というものを運営しております。

激走！データ競馬ブログ

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/>

激走！データ競馬メルマガ

<http://www.mag2.com/m/0000154729.html>

なぜ「データ競馬」にハマってしまったか言いますと、簡単です。
競馬で負けていたからなんです(汗)

それまでは、競馬新聞などで情報をかき集めたり、パドックを見たりして、「予想」をしていました。

しかし、いくらパドックを見たからと言っても、「何が良いのか？」さっぱりわかりません。

(まあ、今でもよくわかりませんが...(笑))

競馬新聞を見ても、ある新聞では「調子良い」と書かれていれば、他の新聞では、「今回は厳しい…」などと書かれており、何が良いのか、悪いのか。

それに、新聞の予想に乗ってみても、たいして当たるわけでもなく...

結局は、気合乗りが良かったから...などと自分でも良く分からない理由をつけて、「勘」みたいな予想をして買っていました。

もちろん、それでは勝てるわけがないんですけどね...

そんなあるとき目にしたのが、出現率と言う統計データでした。

もちろん、競馬をやっている人なら、当たり前知識だと思うのですが、当時予想の超素人であった私としては、けっこうなインパクトがあったことを覚えています。

出現率とは

人気 単勝出現率

1 番人気 32.2%

2 番人気 19.7%

3 番人気 13.8%

4 番人気 9.0%

5 番人気 7.3%

6 番人気 5.4%

7 番人気 3.4%

8 番人気 2.3%

9 番人気 2.3%

10 番人気	1.4%
11 番人気	1.3%
12 番人気	0.7%
13 番人気	0.5%
14 番人気	0.3%
15 番人気	0.2%
16 番人気	0.0%
17 番人気	0.1%
18 番人気	0.0%

(2007 年の 1 年間の統計です)

人気順に勝つ確率がほぼ決まっていること、この確率が毎年ほとんど変わらないことにビックリしましたね。

参照データでは単勝ですが、他にも、出現率は馬連や枠連などもそれぞれ人気順にほぼ一定の確率が決まっています。

要するに、ある一定の買い方をしたら、的中率はその統計の確率になっていくということですね。

例えば極端な話、単勝 2 番人気を買い続けたらの中率は 20%ぐらいになります。

その時期から、競馬は確率との勝負だってことに気付きはじめ

「それなら、条件別ならどんな確率なんだ？」

「コース別なら...？」

「騎手別なら??」

色々、調べたいことが山ほど出てきて、それからと言うもの、、、
すっかりハマってしまいました(^_^;)

例えば、こんなデータを調べてみました。

【全競馬場 単勝人気別出現率データ】

先ほどの出現率をさらに、競馬場別などで細分化したデータです。

競馬場別、芝・ダート別、1番人気オッズ別で大きく変わってくるのは
言うまでもありませんよね。

ある条件下では1番人気の出現率(的中率)は約55%にも上がることが、この
データを見るとわかります。

先日、私のメルマガの読者様に、エクセルにまとめて、プレゼントした
ものですので、よろしければどうぞ使ってください。

無料でダウンロードできます。

<http://datakeiba.client.jp/muryou.html>

このようなデータ競馬が私の考えの基盤となり、良い結果に結びつくよ
うになってきました。そして、現在に至ります。

さて、本題に入りたいと思います。

データの中でも、騎手は分析のやりがいのある項目なんです。

何故かと言いますと

「データが多いこと」と「騎手によって特徴が良く出ていること」が主な理由です。

騎手には

- (1)人気馬では信頼できるが、人気が少ない馬では期待できない騎手
- (2)人気馬でも信頼でき、さらに人気薄でも馬券圏内に持ってくる騎手
- (3)人気でも人気薄でも率は低いが、ほどほどに馬券にしている騎手
- (4)人気問わずあまり活躍しない騎手

大きく分けると、このような分類ができます。

(実はもっと細分化できますがここでは端折ります)

なんとなく、イメージ的に浮かんできますか？

これをデータで見えていくと良く分かるんです。

例えば...

数値は人気(着別度数)勝率 連対率 複勝率

武豊騎手 2007 年人気別成績

1 番人気 (106-50-35-109) 35.3% 52.0% 63.7%
2 番人気 (32-29-19-80) 20.0% 38.1% 50.0%
3 番人気 (11-18-9-71) 10.1% 26.6% 34.9%
4～6 番人気 (6-12-15-89) 4.9% 14.8% 27.0%
7 番人気以下(1-0-0-21) 4.5% 4.5% 4.5%

安藤勝騎手 2007 年人気別成績

1 番人気(79-37-20-63) 39.7% 58.3% 68.3%
2 番人気(25-33-20-60) 18.1% 42.0% 56.5%
3 番人気(20-16-4-53) 21.5% 38.7% 43.0%
4～6 番人気(10-11-16-71) 9.3% 19.4% 34.3%
7 番人気以下(2-1-5-25) 6.1% 9.1% 24.2%

(1)～(4)のどれに該当するか、なんとなくわかると思います。

武豊騎手は(1)に該当しますね。人気馬に騎乗したときは、抜群の成績ですが 7 番人気以下では、1 度勝っただけです。穴としてはほとんど狙えませんね。

人気薄に騎乗したときはでは「消し」と判断しても良いわけです。

安藤勝騎手は人気ではもちろん抜群の成績です。さらに 7 番人気以下で 8 度も 3 着以内に持ってきています。ちなみに 7～9 番人気(2-1-5-14)複勝率 36.4%です。

すなわち、安藤勝騎手は人気がなくても抑えておいたほうが良い、ということになります。(2)に該当しそうですね。

このようなデータを各騎手ごとに調べ、さらに細分化することにより各騎手の「消しのライン」というものが見えてきます。

では表題での「武豊騎手の取り捨てる」のラインはどのあたりか？を見てみましょう。

データは過去 24 ヶ月を参照します。

さて、まずは未勝利戦ならどんな感じでしょうか？

未勝利

- 1 番人気(77-28-25-46) 43.8% 59.7% 73.9%
- 2 番人気(20-14-15-48) 20.6% 35.1% 50.5%
- 3 番人気(9-13-8-40) 12.9% 31.4% 42.9%
- 4 番人気(3-3-3-24) 9.1% 18.2% 27.3%
- 5 番人気(0-2-2-13) 0% 11.8% 23.5%
- 6 番人気(0-1-1-9) 0% 9.1% 18.2%
- 7 番人気以下(0-0-0-12) 0% 0% 0%

単勝オッズ 10 倍以上(0-1-3-36) 0% 2.8% 10.0%

「消し」のラインは、6 番人気あたりが目安となります。単勝オッズでは 10 倍を超えていれば、「消し」と判断しても良さそうですね。

ちなみに、単勝 1.0 ~ 1.4 倍と圧倒的な支持を集めた馬に騎乗した場合は (20-4-4-2) 66.7% 80.0% 93.3%。なんと、複勝率 93.3%です！軸としてこれ以上ない成績ですので覚えておいてくださいね。

先週土曜の阪神 1R 未勝利で圧勝したメイショウボンハオはこれに該当して

いましたね。(直前で 1.2 倍ぐらい、確定オッズ 1.4 倍)

1 倍台なら、馬券に絡む確率はかなり高いと皆さん思っているとは思いますが数値として、「この場合勝率は 66% ぐらい、複勝率は 93% だったな...」と知っているのと知らないとは大きく違いますよね。

では次に重賞などを含めた、オープンでの成績はどうでしょうか？

オープン

1 番人気(29-6-5-29) 42.0% 50.7% 58.0%

2 番人気(6-11-5-18) 15.0% 42.5% 55.0%

3 番人気(6-6-3-11) 23.1% 46.2% 57.7%

4 番人気(0-0-4-10) 0% 0% 28.6%

5 番人気(0-1-2-13) 0% 6.3% 18.8%

6 番人気以下(1-0-0-14) 6.7% 6.7% 6.7%

単勝オッズ 15 倍以上(0-0-0-15) 0% 0% 0%

オープンでも 6 番人気あたりが目安となっています。

連対で考えるなら、3 番人気以内で「買い」、4 番人気以下で「消し」もありでしょう。また、単勝 15 倍以上なら完消しですね。

例えば、先日の京都記念なんかは良い例です。

ダークメッセージは 5 番人気、直前オッズで 15 倍ぐらいでしたので、「消し」と判断しても良いわけなんですね。

以上、少しですが、武豊騎手のデータを見ました。

武豊騎手の取り捨てに悩んだときは、参考になるはずです。

余談ですが、私の友人は、「ユタカは消し」を口癖のように言ってます。
理由は、「買ったら来ない。買わなかったら来る」だそうです(笑)

まあ、人気を背負って裏切ったレースと、人気どおり勝ったレースなら、やはり負けたレースの方がイメージとして残りますからねえ。買っていたならなおさらですよ。

でも、私からしたら「なんて危険なことを…」って思いますが、、、。

最後に、今回は回収率についてのデータはまったく触れませんでした、私の考え方は、まず的中率を上げることが大事だと思っています。そこから、資金をどう投じていくかを考えています。

また、データで裏づけのある、「消し」の条件さえわかれば、買い目を減らすことができますよね。

よって、買い目を減らす = 無駄な投資をなくす = 回収率 UP につながるというわけです。

あたりまえですけどね。

では、また機会がありましたらお会いしましょう！！

前川